



県内にお住まいの65歳以上の皆さんに、交通安全意識を高めていただくとともに、耳慣れた秋田弁を活用して広く県民に交通事故防止を呼びかけるため、「交通安全作品コンクール」として、あきた弁を使った川柳を募集しました。応募作品73句(応募者72人)の中から、入選作品を紹介します。



あきた弁の“味ッコ”をじっくり堪能してたんせ！

最優秀賞

やじがねべ
止まれのどごで 止まらねば
(駄目でしよう 止まれのところで 止まららないと)

優秀賞

うるだぐな アクセルブレーキ まちがうど
(急いだり焦れば、アクセルとブレーキ操作を間違うよ)

佳作

あぐどぎに スマホ見でれば やじがねど
(歩く時に スマホ見てれば ダメだぞ)

ちゃんど見れ 自転車だって 車だべ
(よく見てね 自転車だって 車でしよう)

としよりだち わらしだ見でるど 守らねば
(年寄り達 子供達みてるよ 守らないと)

まだ若げど 思う気持ちか 事故まねぐ
(まだ若いと 思う気持ちが 事故を招く)

ばだめぐな 車こねても まだ赤だ
(イソグナ 車こなくても まだ赤だ)

小坂町

木村 昭一さん

大仙市

鳥羽 信一さん

大館市

柁木 達雄さん

上小阿仁村

高田 ヨシさん

由利本荘市

須藤 愛子さん

五城目町

松橋 かほるさん

能代市

桂田 恒三さん

総評

伊藤 光愁

今回は、七十二人の方から計七十三句の応募をいただきました。特に、九十年代、六名の方からの応募もあり、高齢者の交通安全に対する関心の高さを伺わせるものでした。

各句の講評

最優秀賞

「やじがねべ 止まれのごごで 止まらねば」

秋田弁だからこそその説得力があり、句の流れ、リズムも絶妙です。交通ルールの無視が重大事故に直結し、命の危険に繋がります。

優秀賞

「うるだぐな アクセルブレーキ まちがうど」

大分前に、「ゆっくり走ろう秋田県」という亀マークの交通安全標語があつたが、運転は急がず、ゆとりを持って。アクセル、ブレーキの間違ひは特に重大事故となります。

佳作

「あぐどぎに スマホ見でれば やじがねど」

最近、歩行者も含めて「ながら」が非常に目立ち、それが原因となる事故が多発しており極めて危険な行為です。下の句の秋田弁が絶妙です。

「ちゃんと見れ 自転車だって 車だべ」

自転車に起因する事故が多発している現状にあります。歩行者にとって、自転車も車と同様に走る凶器であるということを認識しなければ命にかかわる事故となります。

「としよりだち わらしだ見でるど 守らねば」

ルールの遵守を実践し、子供たちの見本になりましょう。子供たちは大人を見ています。

「まだ若げど 思う気持ちちが 事故まねぐ」

自分の思いとは別に、体の動きがつかないというのが高齢者の現実です。自分を過信せず、安全運転に徹しましょう。

「ばだめぐな 車こねても まだ赤だ」

一読明快。特に上の句が秋田弁の本領発揮です。ルールをしっかりと守ること、それが交通事故防止の基本です。

令和7年度 交通安全作品コンクール「あきた弁川柳」審査会委員

伊藤 光愁 「あきたの文芸」川柳部門選考委員
伊藤 主税 一般社団法人秋田県交通安全協会専務理事
内田 鉄嗣 秋田県教育庁生涯学習課長
古屋 建一 秋田県警察本部交通部交通企画課長
古山 明生 秋田県生活環境部県民生活課長
杉山 明生

